Marshall

Broadcast A/V Division

CV620-BI2/CV620-WI2

FHD PTZ 20X カメラ



取扱説明書

Marshall

目　次

1. 内容物 2

2. 機能の紹介 3

2.1　I/O機能の紹介 3

2.2　LEDインジケーター 4

2.3　タリーランプ 4

3. 設置 5

3.1　設置前の準備 5

3.2　設置手順 6

3.3　デバイスの接続 7

4. リモコンと設定メニュー 8

4.1　リモコンの機能 8

4.2　設定メニュー 9

5. ネットワーク機能 15

5.1　カメラをネットワークに接続する 15

5.2　Webページ機能 17

6. トラブルシューティング 34

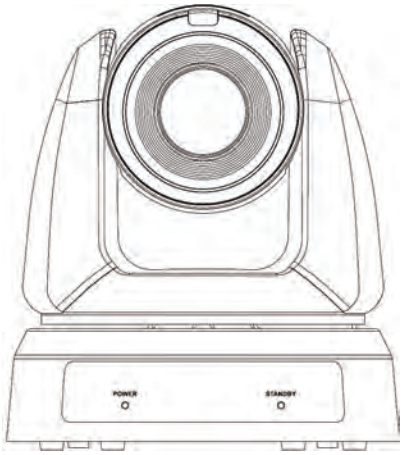
7. 外観図 35

8. 安全に関する指示 38

保証　サポート窓口 39

1. 内容物

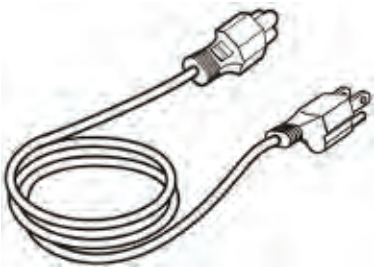
PTZカメラ



リモコン

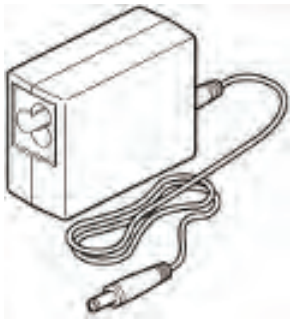


AC電源コード

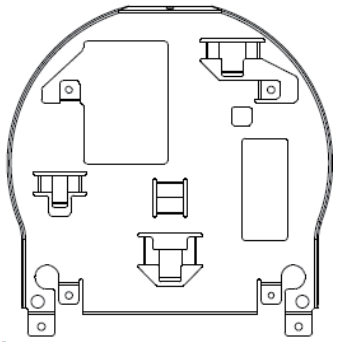


国/地域によって外観が
異なる場合があります

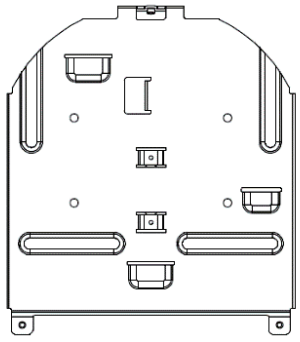
電源アダプター



金属板A



金属板B



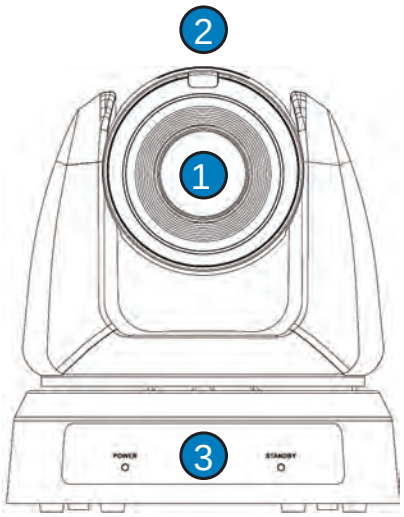
M3ネジ



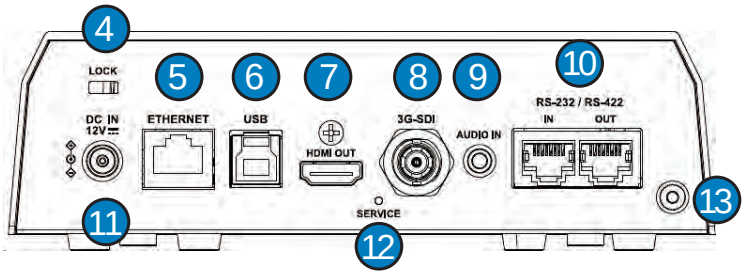
シルバー x8 / ブラック x2

2. 機能の紹介

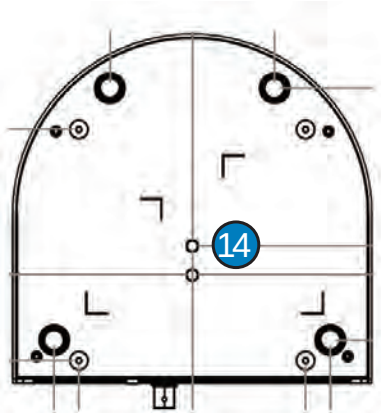
2.1 I/O 機能の紹介



NO.	項目	機能の説明
1	カメラレンズ	HDカメラレンズ
2	タリーランプ	カメラのタリーランプの状態を表示する
3	電源/スタンバイ LEDインジケーター	カメラの状態の表示については 2.2 LED インジケーター を参照してください



NO.	項目	機能の説明
4	ロック	安全ロックスロット
5	イーサネット	ネットワークポートはPoE(IEEE802.3af)に 対応しています
6	USB出力	USBポートはコンピュータのUSBポートに接続し、 USB信号画像を提供するためのものです
7	HDMI出力	HDMI出力（音声出力対応）
8	3G-SDI	3G-SDI出力（音声出力対応）
9	音声出力	ライン入力 / マイク入力 対応
10	RS-232/ RS-422 OUT/ IN	RS-232/RS-422ポート、 最大7台のカメラをシリアル接続可能です
11	DC入力12V	AC電源接続ポート
12	サービス	カメラをデフォルト設定にリセットする
13	ロック	安全ロックスロット



NO.	アイテム	機能の説明
14	三脚ロック穴	カメラは（仕様）1/4インチ-20 UNC三脚に 取り付けられています

2.2 LEDインジケーター

ステイタス	パワー	スタンバイ
起動中(初期化)	グリーン	オレンジ
使用中	グリーン	インジケーターなし
スタンバイモード	インジケーターなし	オレンジ

2.3 タリーランプ

タリーランプ機能は、RS232 コマンドを通じて有効にすることができます。

RS-232コマンドセットドキュメントを参照してください。

3. 設置

3.1 設置前の準備

HDカメラの設置と接続には特別な技術が必要です。ご自身で設置する場合は、必要な手順に従い、機器をしっかりとしっかりと固定し、事故を防ぐため安全に十分ご注意ください。

3.1.1 設置環境の安全性を確保してください。

事故を防ぐため、不安定な天井や落下の危険性がある場所への設置は避けてください。

3.1.2 箱内の付属品が揃っているかご確認ください。不足品がある場合はサプライヤーにご連絡ください。

また、箱内の付属品はそのまま保管してください。

3.1.3 事前にカメラを設置する適切な場所を選択してください。

以下の要件に従って設置場所を決定してください。

(A) 撮影する対象物の位置を確認します。

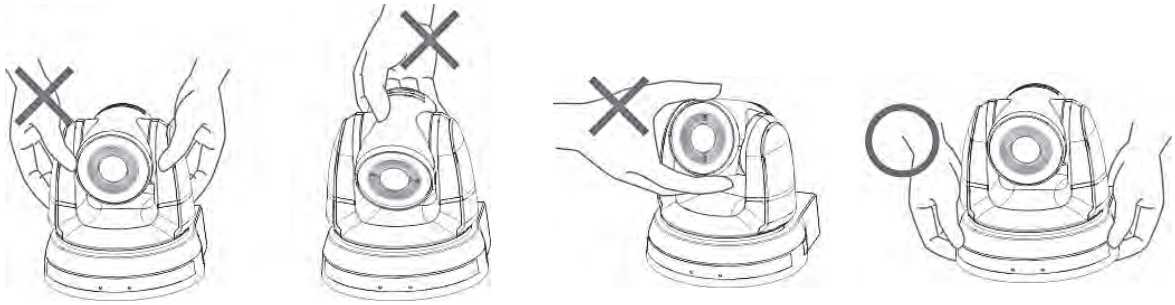
(B) カメラが他の光源から適切な距離に設定されているかどうかを確認します。

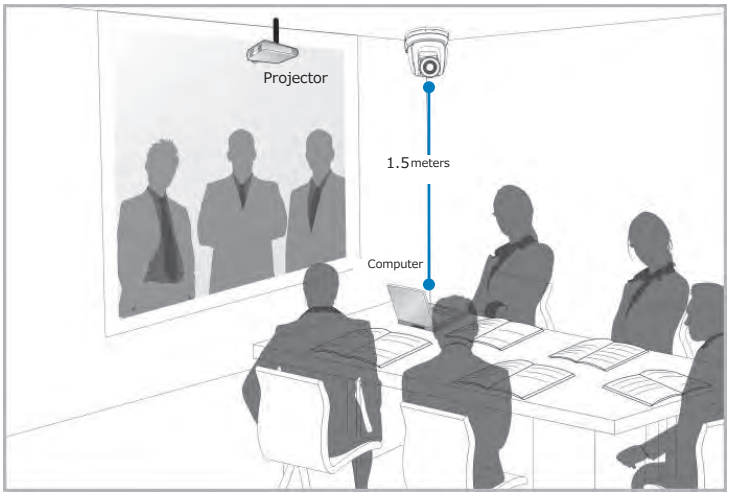
3.2 設置手順

3.2.1 注意事項

■デバイスを取り扱う際はカメラヘッドを手で掴まないでください。

■カメラヘッドを手で回さないでください。不適切な回転はカメラの故障につながる可能性があります。





■ 設置前に、捕捉する物体に対する機械の向きを確認してください。

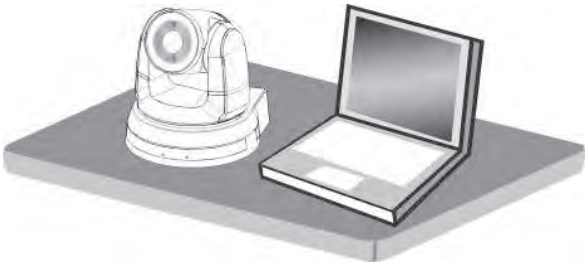
■ 撮影対象物から1.5メートル以上離して設置することをお勧めします。
レンズの倍率に応じて最適な距離を調整してください。

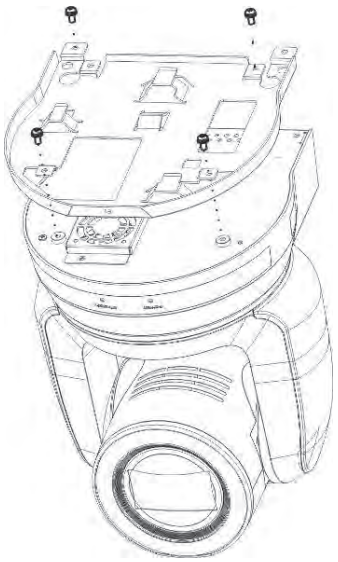
■ カメラ本体（金属プレートを含む）の重量は約2.5kgです。
天井に設置する場合は、落下防止のため、
UL規格の安全認証を取得したハンガーをご使用ください。

■ カメラがしっかりと設置されているか定期的に確認してください

3.2.2 机の上にカメラを設置する

機械の垂直方向および水平方向の正常な操作を確保するために、
カメラを平らな机の上に置いてください。





3.2.3 天井にカメラを設置する

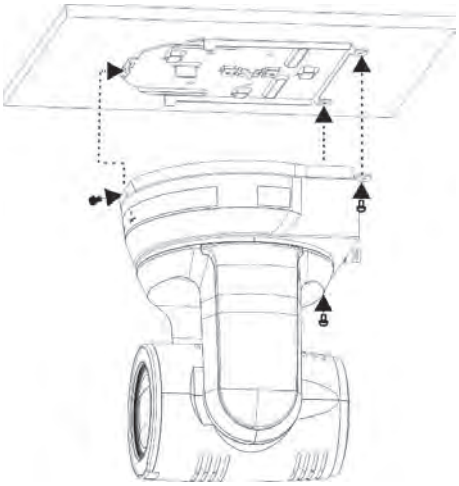
(A) ）設置に必要な部品や機器を準備する

■箱の中の付属品（金属プレートA、B、M3ネジ シルバー×8、ブラック×2）
■天井取り付けハンガー固定用ネジ×4
■ドリル、ドライバー、はしご
■カメラと金属の寸法については、7. 外観図 を参照してください。

(B) 設置手順

1. 金属プレートAをM3銀ネジで機械ベースに固定します。
2. 天井に取り付けられたハンガーの金属プレートBをロックします。

安全認証を取得したハンガーを使用してください。
カメラの接続線用の穴を確保してください。

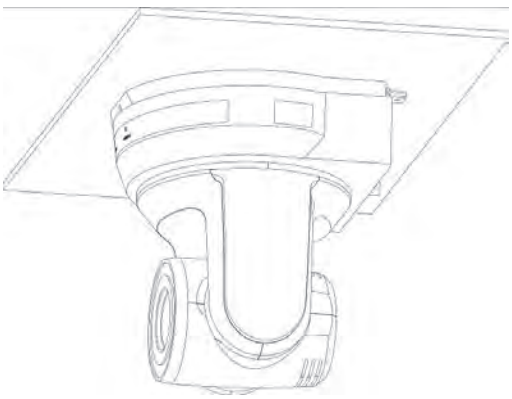


3.金属板Aと金属板Bを組み合わせる

(1) 金属板Aを天井まで押し上げ、次に右に押して金属板Bをラッチします。
(2) M3銀ネジ2本とM3黒ネジ1本で固定します。

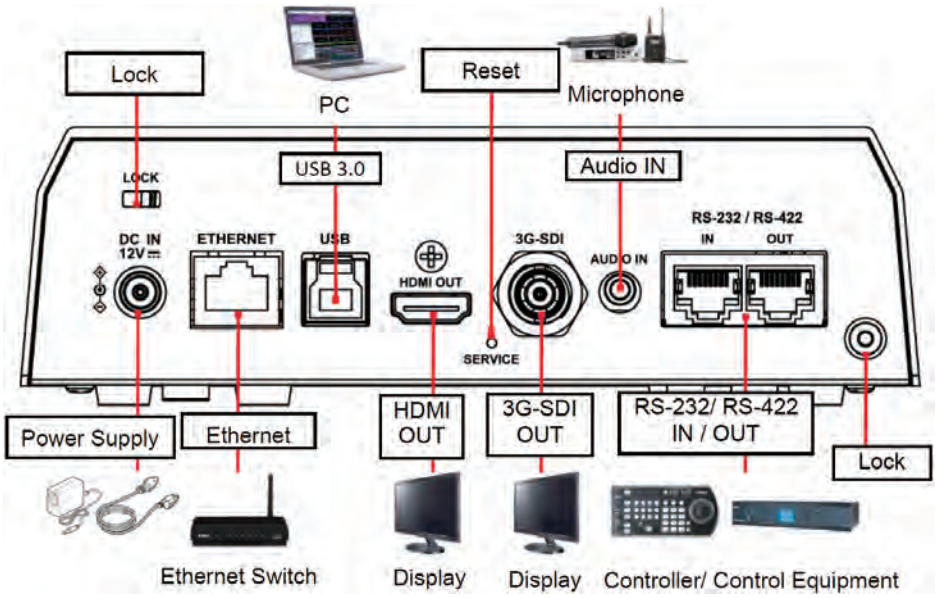
3.2.4 取り外し方法

1. カメラから接続ワイヤーを取り外します。
2. 天井と一緒にカメラを取り外し、金属板AとBを固定している
   3本のネジを緩めて左に押して機械を取り外します。



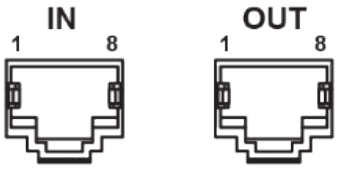
3. 次にハンガーと機械のネジを外します。

3.3 デバイスの接続



3.3.1 RS-232/RS-422接続

R S-232/RS-422ポート、最大7台のカメラをシリアル接続可能

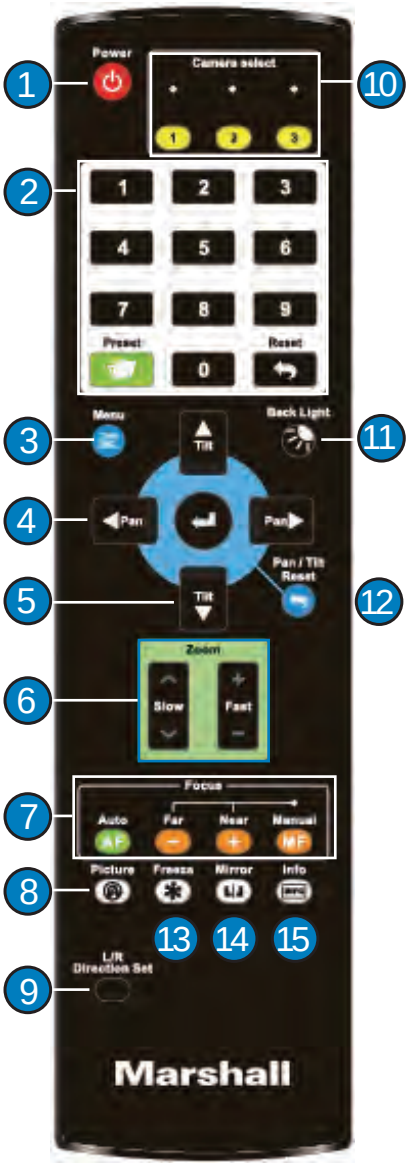


Pin No.	機 能	機 能	RS-232 / RS-422
1	RX-	TX-	RS-422
2	RX+	TX+	RS-422
3	GND		RS-232 / RS-422
4	TX	RX	RS-232
5	RX	TX	RS-232
6	DTR	DSR	RS-232
7	TX-	RX-	RS-422
8	TX+	RX+	RS-422

4. リモコンと設定メニュー

4.1 リモコンの機能

No.	アイテム	説　明
1.	Power	電源スイッチ
2.	Preset	• 数字キー0 - 9: クリックするとプリセットを呼び出します。 • プリセット: 現在の位置データを保存する ID（0～9）を指定します。 • リセット: ID（0～9）を指定して 現在の位置データを削除します。
3.	Menu	OSDメニューを表示します
4.	Pan/ Tilt	レンズを動かします
5.	Home-Enter	メインページに戻る/実行
6.	Zoom	• Fast: 画像サイズを調整する • Slow: 画像サイズを微調整する
7.	Focus	• Auto: オートフォーカス • Manual: 手動フォーカスを有効にします • Far/ Near: 手動で焦点距離を調整します
8.	Picture	画像効果の切り替え (OFF/ Neg/ B&W)
9.	L/R Direction Set	左右方向 / 正常
10.	Camera select	カメラID 1～3を選択します
11.	Back Light	バックライト補正のオン/オフ
12.	Pan/Tilt Reset	パン/チルト設定をクリアする
13.	Freeze	画面をフリーズする
14.	Mirror	画像を回転する (OFF/ Mirror/ Flip/ Rotate)
15.	Info	ステータス情報



4.2 設定メニュー

1st レベル	2nd レベル	3rd レベル	説　明
Exposure	Mode	Full Auto/ Shutter Pri/ Iris Pri/ Manual	露出モード設定
	Exposure Comp.	On / Off	AEレベル この機能は、Picture セクションの Advanced を有効にした後にのみ有効になります
	Level	-5~5	Exposure Comp.（露出補正）を有効にした後、値を調整できます
	Spot Light	On / Off	
	Position	X(0~6)Y(0~4)	Spot Light を有効化した後に値を調整できます
	Shutter Pri	60/30 mode / 50/25mode 1/10000~1/25	Exposure モードが Shutter Pri に設定されている場合に調整可能
	Iris Pri	F1.6~F6.3	Exposure モードが Iris Pri に設定されている場合に調整可能
	Manual Gain	0-45dB	Exposure モードが Manual に設定されている場合に調整可能
	Manual Speed	60/30 mode / 50/25mode 1/10000~1/25	シャッターを手動で設定します
	Manual Iris	F1.6~F6.3/ OFF	絞りを手動で設定します
	Gain Limit	9-45 dB	電子ゲインの最大値
	Iris Limit	F1.6~F6.3	絞りの最大値
	WDR	OFF/ 1/ 2 /3	この機能は、Picture セクションの Advanced を有効にした後にのみ調整できます。
White Balance	Mode	1. Auto 2. Indoor 3. Outdoor 4. One Push WB	色温度モードを選択します 1. 4000k ~ 7000k 2. 3200k 3. 5800k

1st レベル	2nd レベル	3rd レベル	説　明
		5. ATW 6. Manual 7. Sodium Lamp 8. 3000K 9. 4300K 10. 5000K 11. 6500K 12. 8000K	4. 1700k ~ 10000k 5. 1700k ~ 10000k 6. Custom 7. 2800k
	One Push	ENTER	ワンプッシュトリガー
	Manual Red	0~128	ホワイトバランスモードが Manual に設定されている場合に調整可能
	Manual Blue	0~128	ホワイトバランスモードが Manual に設定されている場合に調整可能
Picture	Picture effect	OFF/ Neg / B&W	
	Advanced	On / Off	
	Sharpness	0~14	Advanced が有効な場合に調整可能
	2D NR	OFF/ 1/ 2/ 3	Advanced が有効な場合に調整可能
	3D NR	OFF/ Low/ Typical/ Highest	Advanced が有効な場合に調整可能
	Image Mode	Standard/ LED mode/ Brilliant	
	Brightness	0~15	Advanced が有効な場合に調整可能
	Hue	0~15	Advanced が有効な場合に調整可能
	Saturation	0~15	Advanced が有効な場合に調整可能
	Gamma	0~3	Advanced が有効な場合に調整可能
Pan Tilt Zoom	Pan/Tilt Limit	On / Off	角度制限設定のオン/オフ
	Pan Right Limit	0~170	右の角度を制限します
	Pan Left Limit	-170~0	左の角度を制限します

1st レベル	2nd レベル	3rd レベル	説　明
	Tilt UP Limit	0~90	上向きの角度を制限します
	Tilt Down Limit	-30~0	下向きの角度を制限します
	Pan Flip	On / Off	パン方向の反転を有効にする
	Tilt Flip	On / Off	チルト方向の反転を有効にする
	Preset Speed	5/ 25/ 50/ 80/ 120/ 160/ 200/ 300 deg/sec	プリセット実行時のクレードルヘッドの回転速度を設定します
	PTZ Speed Comp	On / Off	パン/チルトの移動速度をズーム位置に応じて変更します
	D-Zoom Limit	x1~x12	Dズーム制限を設定する
	PTZ Motion Syn)	On / Off	有効にすると、プリセット制御によるPTZ同期が可能になります。 注意： この機能については、プリセット速度設定を参照してください。 PTZ可動範囲の違いにより、速度が自動的に調整される場合があります。
D-Effect	Mirror / Flip	OFF / Mirror / Flip / Mirror + Flip	画像をミラーまたは反転するモードを設定します
Auto Focus	AF Sensitivity	Low / Mid / High	AFのトリガー速度については、速度が速いほどAFが速くトリガーされます
	AF Frame	Center Area / All Area / Auto	AFフレーム設定、中央エリアをAFフレームに設定すると画面中央にフォーカスが当てられ、フルフレームをAFフレームに設定すると画面全体を基準にフォーカスが当てられます
	Zoom tracking	Manual / Curve Tracing / Zoom Tracking	レンズのズーム時のフォーカスモード ※マニュアルフォーカス（MF）モードで設定できます）
	PTZ Assist	On / Off	PTZアシストが有効でPTZ制御が動作中の場合、フォーカスは即時実行時に1回のみ実行されます。 その後、シーンが変化してもフォーカスは実行されません。→

1st レベル	2nd レベル	3rd レベル	説　明
			→※マニュアルフォーカス（MF）モードで設定できます）
	Preset AF	On / Off	Preset 後にオートフォーカスを実行するかどうかを設定します
	SMART AF	On / Off	この機能をオンにすると、AFは主に顔に焦点を合わせます
Ethernet	DHCP	On / Off	左右の矢印キーを使用して DHCP 設定を有効/無効にし、[ENTER] を押して設定を適用します
	IP Address	192.168.100.100	[ENTER] を押して変更モードにし、上下キーを使用して変更する項目を選択し、左右キーまたは数字キーを使用して値を変更します
	Subnet mask	255.255.255.0	[ENTER] を押して変更モードにし、上下キーを使用して変更する項目を選択し、左右キーまたは数字キーを使用して値を変更します
	Gateway	192.168.100.254	[ENTER] を押して変更モードにし、上下キーを使用して変更する項目を選択し、左右キーまたは数字キーを使用して値を変更します
Audio	Audio In	Line In/Mic In	音声入力を設定する
	Audio Enable	On / Off	音声出力のオン/オフ
	Volume	0~ A ~10	音量設定
	Delay	On / Off	音声と映像が同期していない場合は、この機能を有効にして音声のディレイ時間を設定します
	Delay Time(ms)	-1~-500ms	オーディオのディレイ時間を設定します
	Encode Type	AAC/ G.711	エンコードタイプを設定します
	Encode Sample Rate	48 KHz(AAC)	エンコードタイプとサンプルレートを設定します

1st レベル	2nd レベル	3rd レベル	説　明
System	Prompt	On / Off	ディスプレイ上のプロンプト情報の オン/オフを切り替えます
	IR Receive	On / Off	
	IR Select	1/ 2/ 3	
	Tally Lamp	On / Off	
	Tally CMMD Mode	Normal/ Link	インジケーターライトをRS232コマンドに リンクさせるかどうかを設定します。 ■Normal（Link なし）： インジケーターライトのスイッチとモードは 別々に設定する必要があります。 ・インジケーターライトが点灯し、 デフォルトモードがオフの場合、 インジケーターライトモードを設定するには 追加のコマンドが必要です。 ・インジケーターライトがオフのときに インジケーターライトモードを設定しても、 インジケーターライトは点灯しません。 ■Link： ・インジケーターライトがオンの場合、 デフォルトモードは赤色です。 ・インジケーターライトがオフのときに インジケーターライトモードを設定すると、 インジケーターライトが点灯します。
	Language	English/ 中文	
	Initial Position	Last MEM / 1st Preset	電源投入後、カメラレンズが最後に 操作した位置、または最初のプリセット 位置に戻るように設定します。 **注意**：最初のプリセット = Presset 0
	Control Device	Encoder / Controller	制御デバイスの設定 Controller：ジョイスティック用 Encoder：トラッキングシステム用
	Motionless Preset	On / Off	この機能を有効にすると、プリセット実行時に 画面がフリーズします。 プリセットが完了するとフリーズが 解除されます。

1st レベル	2nd レベル	3rd レベル	説　明
	Control Port	RS-232/RS-422	使用する制御インターフェースが RS-232かRS-422かを選択します
	Protocol	VISCA	
	Baud Rate	9600/38400	制御信号の送信速度を選択します
	VISCA Address	0 ~ 7	
	Output Mode	1. 1080p/60 2. 1080p/50 3. 1080p/30 4. 1080p/25 5. 720p/60 6. 720p/50 7. 720p/30 8. 720p/25	出力解像度を選択します
	Factory Reset	On / Off	工場出荷時の設定に戻します
Status			現在の設定ステータスを表示します

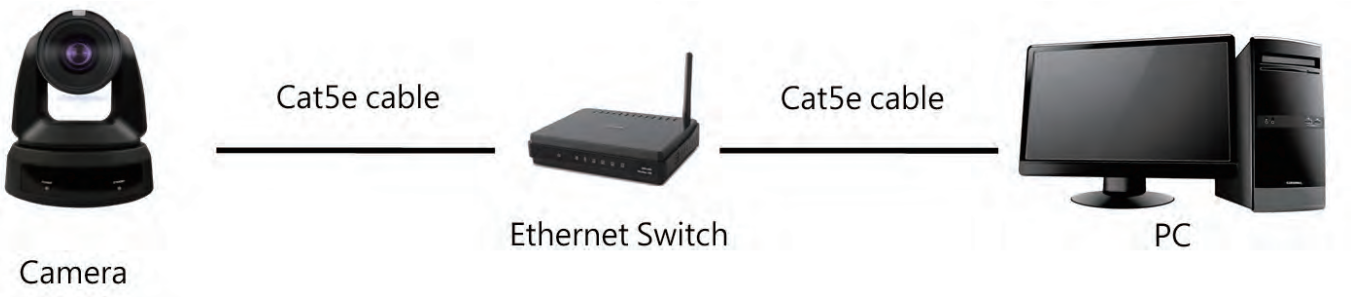
5. ネットワーク機能

5.1 カメラをネットワークに接続する

5.1.1 インターネットへの接続

一般的な2つの接続方法を以下に示します。

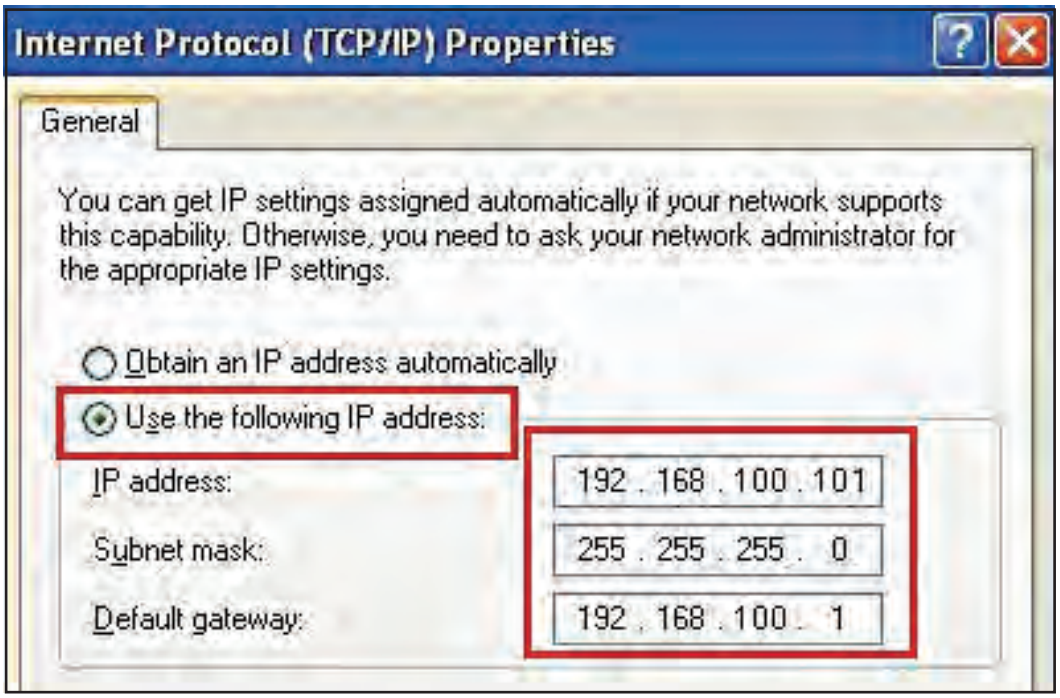
1.スイッチまたはルーター経由で接続する



2. ネットワークケーブルで直接接続するには、コンピュータのIPアドレスをカメラと同じネットワークセグメントに変更する必要があります。

例: カメラの工場出荷時のデフォルトIPアドレスは 192.168.100.100 です。
コンピュータとカメラを正しく接続するには、コンピュータのIPアドレスを同じネットワークセグメント（例：192.168.100.101）に設定する必要があります。

- **ネットワーク設定を変更する**



5.1.2 ブラウザを使用して画像を表示する

- ブラウザを開き、アドレスバーにカメラのIPアドレスを入力します

  例: http://192.168.100.100 (デフォルトの IP アドレス)

- 管理者のアカウントとパスワードを入力してください

  初回ログイン時は 5.2.10 System - User を参照してデフォルトのパスワードを変更してください。

Marshall Network Camera

- ユーザー名: admin
- パスワード: 9999 (デフォルト)

5.1.3 RTSPプレーヤーを使用して画像を表示する

RTSP接続には VLC、Quick Time、PotPlayer などの無料ソフトウェアを使用できます。

RTSP 接続アドレスの形式は次のとおりです。

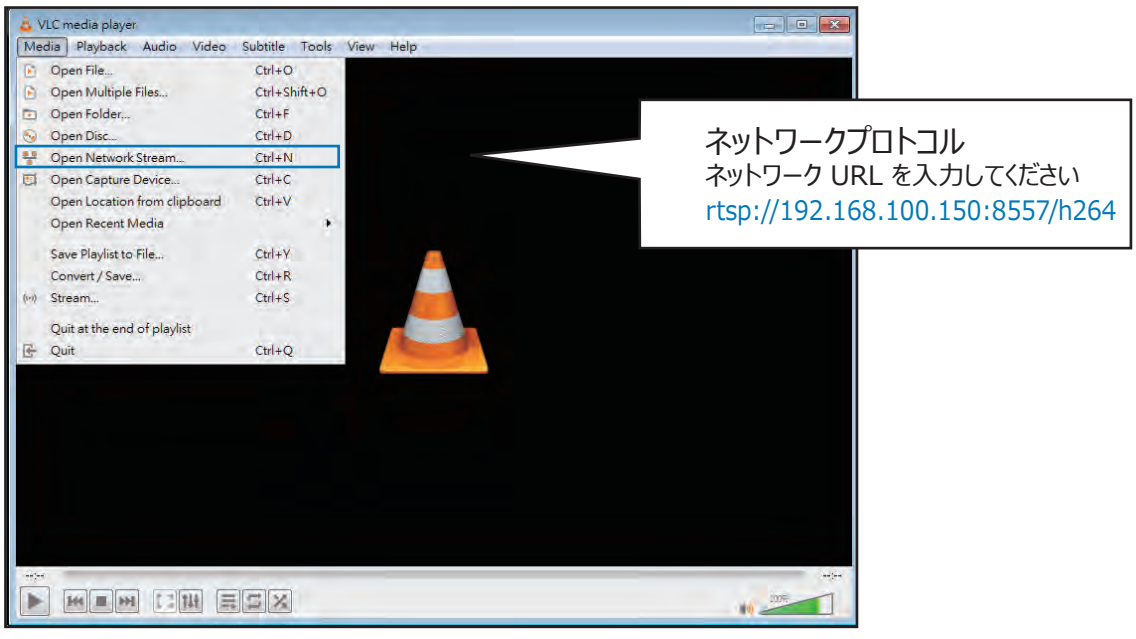
- RTSP Stream 1 => rtsp://Camera IP:8557/h264
- RTSP Stream 2 => rtsp://Camera IP:8556/h264

パスワード認証が有効になっている場合、RTSP 接続アドレスは次のようになります。

- rtsp://Username:Password@VC IP address:port/h264
- パスワード認証機能を有効にするには、52.4 Stream を参照してください

例：

VLCソフトウェアを開き、[Open Network Streaming]をクリックし、URLを入力します
rtsp://192.168.100.150:8557/h264



5.2 Webページ機能

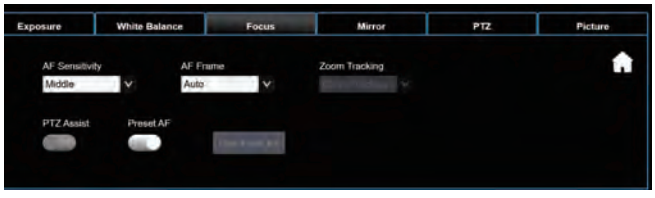
5.2.1 Live View

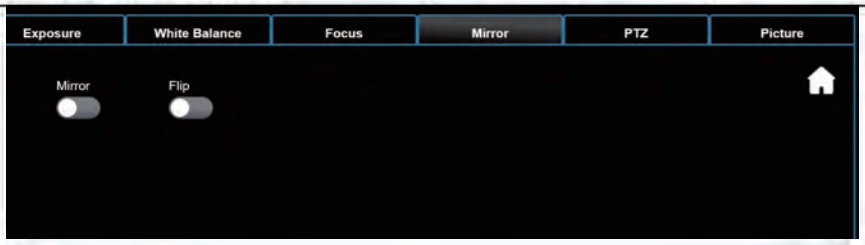


No	項　目	説　明
1	Camera ID/ location	カメラID/位置の表示 5.2.5 System - Device を参照してください
2	Preview window	カメラで現在撮影されている画面を表示します
3	Enlarge	プレビュー画像を拡大します
4	Preset	番号を選択し、[STORE] または [Call] を選択します。 PTZ Only: PTZ のみ有効/無効 ■無効(デフォルト): プリセットを呼び出し、実行します パン/チルト/ズーム/フォーカス + 画像パラメータ設定 ■有効: プリセットを呼び出し、実行します パン/チルト/ズーム/フォーカス
5	Pan/Tilt	カメラ画面のパン/チルト位置を調整します
6	AF/MF	オートフォーカス/マニュアルフォーカスに切り替えます。 マニュアルフォーカスではフォーカスを調整できます。
7	Zoom	ズームイン/ズームアウト比
8	Camera Setting	関連設定については 5.2.2 Live View - Camera Setting を参照してください
9	Power	カメラの電源オン/オフ
10	Log out	Webインターフェースからログアウトします

5.2.2 Live View - Camera Setting



No.	項　目	説　明
1	Exposure	■Mode：露出モードを選択します（Full Auto/Shutter Pri/Iris Pri/ Manual） ■Gain Level：ゲインレベルを調整します（Manual で調整します） ■WDR：より鮮明な画像を得るために、ワイドダイナミックレンジ（WDR）のレベルを設定します（WDRは、Picture セクションで Advanced を有効にした後にのみ調整できます） ■Exrosure Comp. level：露出補正レベルを選択します（露出補正レベルは、Picture セクションで Advanced を有効にした後にのみ調整できます） ■Iris Level：絞りの大きさを調整します（Manual または Iris Priority で調整できます） ■Shutter Speed：シャッタースピードを調整します（Manual または Shutter Priority で調整できます）
2	White Balance	 ■Mode：色温度モードを選択します ■Manual Red/Blue：Blue/red の色温度を調整します（Manual モードで調整可能） ■One Push WB：単一色温度を調整します（One Push WB モードでのみ調整可能）
3	Focus	 ■AF Sensitivity：自動フォーカスの感度を設定します ■AF Frame：自動フォーカス範囲を設定します ■Zoom Tracking：レンズのズーム操作時のフォーカスモード（Manual に設定できます） PTZ Assist：PTZの動きが変化した際にオートフォーカスが有効になっているかどうかを確認します（Manual に設定できます） **注意**：PTZ Assist を有効にすると、PTZ操作後にフォーカスが作動しますが、シーンが変化した場合は作動しません。→

No.	項　目	説　明
		→**注意**：PTZ Assist が有効になっている場合、PTZ制御後にフォーカスはトリガーされますが、シーンの変化時にはトリガーされません。 ■Smart AF：この機能をオンにすると、AFは主に顔にフォーカスします。 ■Preset AF：プリセット後にオートフォーカスを実行するかどうかを設定します。 ■One Push AF：マニュアルフォーカスモードがオンの場合、この機能をクリックするとワンタイムオートフォーカスが実行されます。
4	Mirror	 ■Mirror：画像のミラーリングを設定します ■Flip：画像を回転させるモードを設定します
5	Pan Tilt Zoom (PTZ)	 ■Pan/Tilt Limit：パン/チルト制限を設定します。 ■Pan/Tilt Flip：オンにすると、パン/チルトの方向が反転します。 ■Preset Speed：プリセット実行時のクレードルヘッドの回転速度を設定します。 ■PTZ Speed comp：有効にすると、パン/チルトの移動速度がズーム位置によって変化します。 ■Initial Position：電源投入後、カメラレンズが最後に保存したメモリまたは最初のプリセットに戻るように設定します。 **注意**：最初のプリセット = Preset 0 ■Motionless Preset：この機能を有効にすると、プリセット実行時に画面がフリーズします。プリセットが完了するとフリーズが解除されます。 ■PTZ Motion Sync：プリセット操作時にPTZ同期することができます。 **注意**：この機能はプリセット速度設定を参照しますが、PTZの移動範囲に応じて速度が自動的に調整される場合があります。

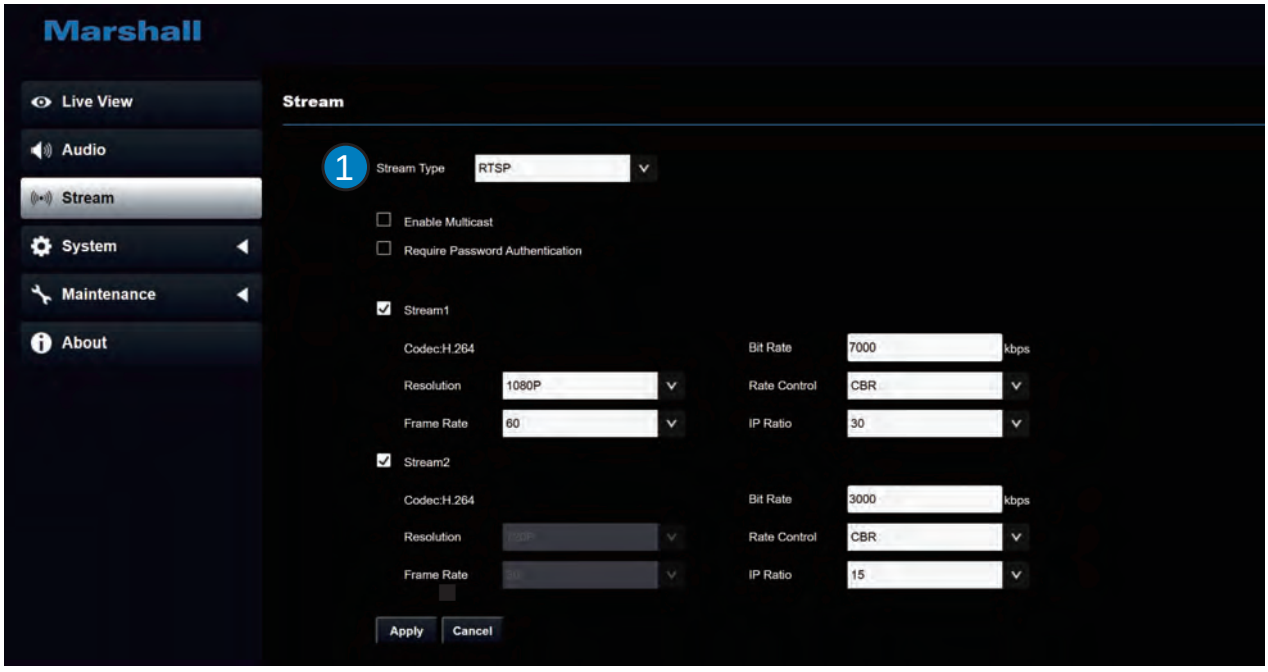
No.	項　目	説　明
6	Picture	 ■Picture Effect：画像効果を設定します。Off/Black and White ■Image Mode：ユーザーが希望する画像モードをカスタマイズできます ■Advanced：チェックを入れると詳細設定が有効になります。 ■2D NR：2Dノイズ低減設定 ■3D NR：3Dノイズ低減設定 ■Hue：画像の色相調整。Advanced が有効になっている場合に調整できます。 ■Gamma：ガンマレベル調整。Advanced が有効になっている場合に調整できます。 ■Brightness：画像の明るさ調整。Advanced が有効になっている場合に調整できます。 ■Saturation：画像の彩度調整。Advanced が有効になっている場合に調整できます。 ■Sharpness：画像のシャープネス調整。Advanced が有効になっている場合に調整できます。

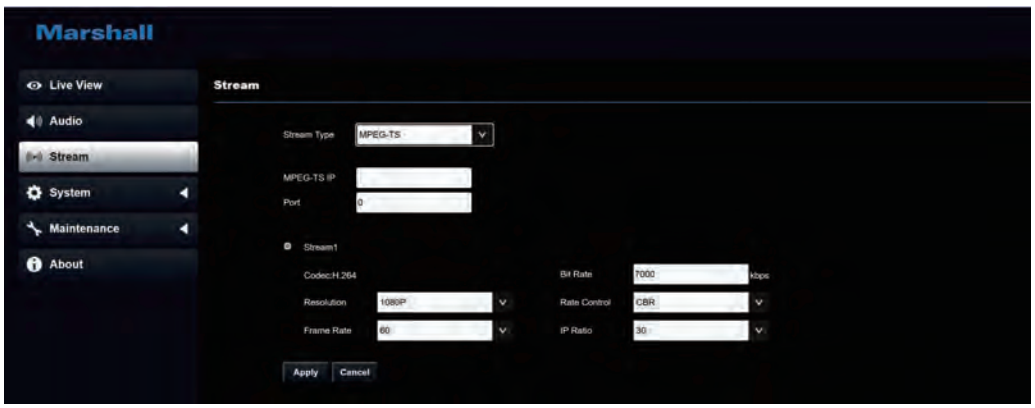
5.2.3 Audio

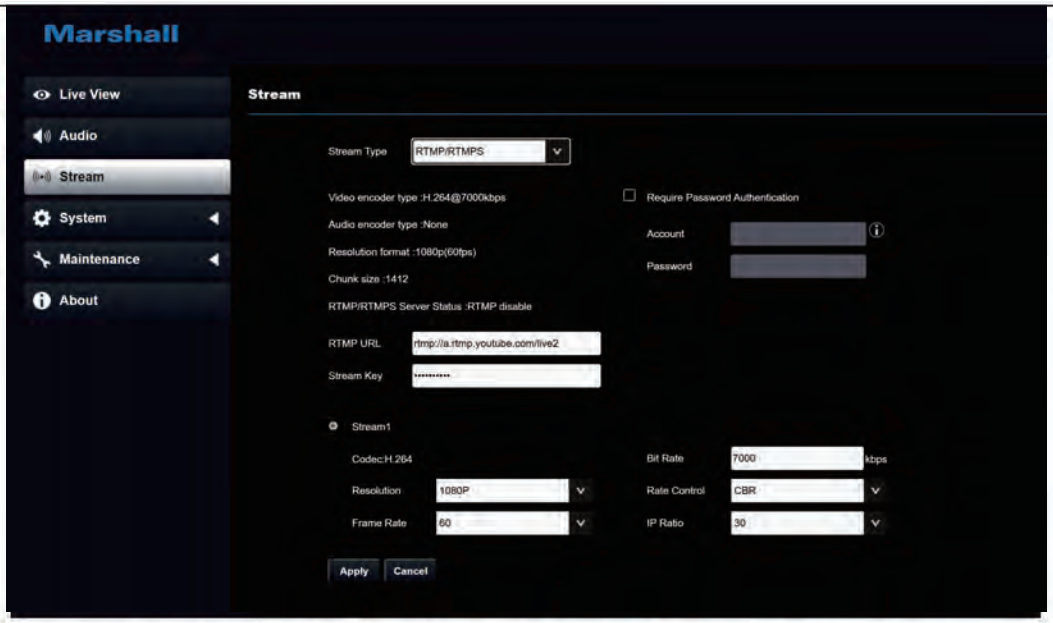
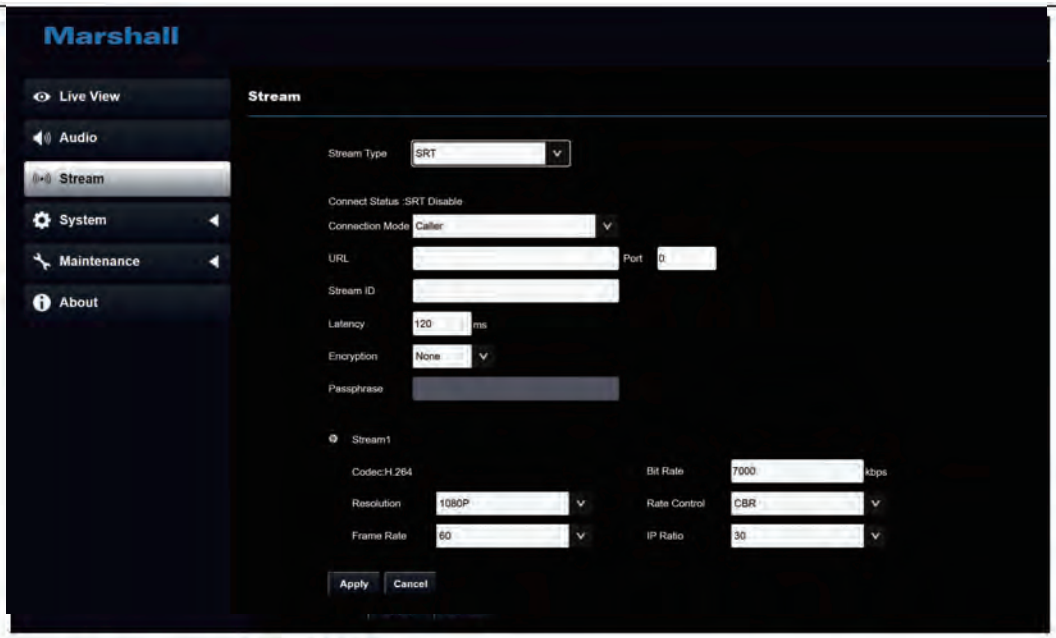


No	項　目	説　明
1	Audio Enable	オーディオの有効化/無効化
2	Audio In	マイク入力／ライン入力の設定
3	Encode Type	AAC / G.711
4	Encode sample rate	マイク入力／ライン入力の設定 Ø 48 KHz (AAC) Ø 44.1 KHz (AAC) Ø 16 KHz (AAC) Ø 16 KHz (G.711) Ø 8 KHz (G.711)
5	Audio Volume	音量を調整する
6	Audio Delay	オーディオディレイの有効化/無効化
7	Audio Delay Time(-)	オーディオディレイ時間の設定（-1～500 ミリ秒）

5.2.4 Stream



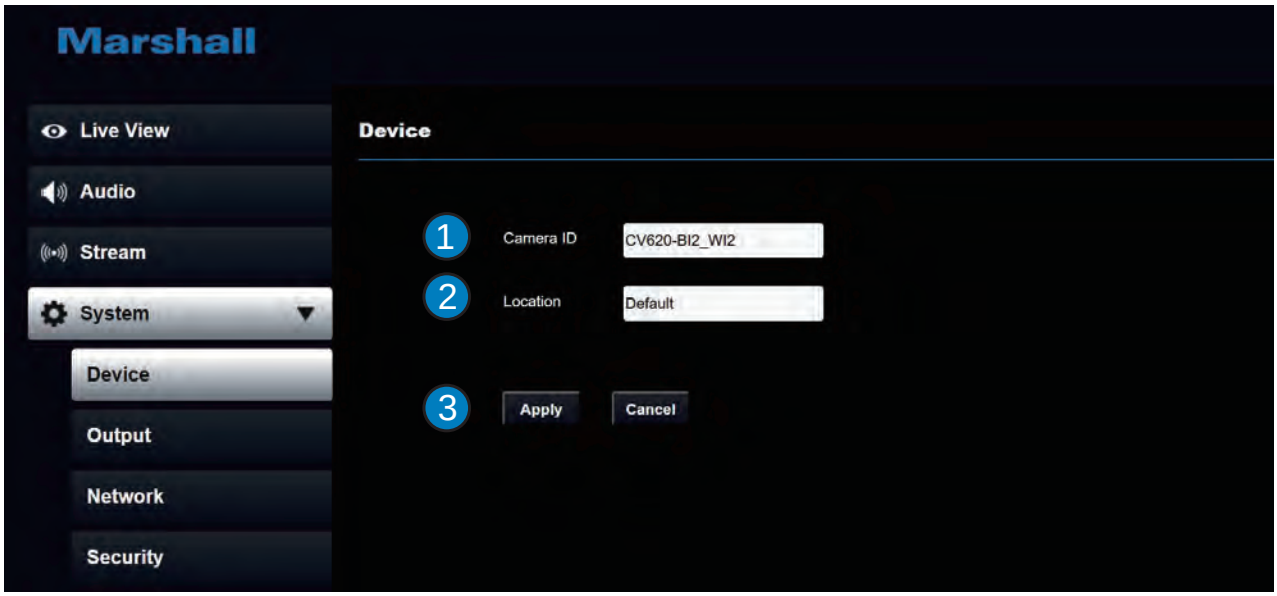
No	項　目	説　明
1	Stream Type	MPEG-TS/RTMP/RTMPS/RTSP/SRT に対応
	RTSP	■マルチキャストを有効にします。 **注意**：ライブ映像を同時に視聴しているオンラインユーザーが4人以上の場合は、マルチキャストを有効にすることを推奨します。 ■パスワード認証が必要です。 ■RTSP接続形式については、5.1.3 RTSPプレーヤーを使用して画像を表示する をご覧ください。 ■ユーザー名/パスワードはカメラのWebログインパスワードと同じです。アカウント情報の追加/変更については、5.2.10 System - User を参照してください。 ■Stream 1/2：関連設定については、5.2.4.1 ストリーミングパラメータ設定 を参照してください。
	MPEG-TS	 ■Port range: 1025～65535 **注意**: Port 3702、5353、8080、8554、8556、8557、52381 はカメラによって使用されるため、これらのポートは設定しないでください。 ■Stream 1: 詳細な設定については、5.2.4.1 ストリーミングパラメータ設定 を→

	→参照してください。
RTMP/ RTMPS	 ■RTMPサービスプラットフォームから提供されたURLをコピーしてここに貼り付けると、カメラのライブビューをRTMPサービスプラットフォームに公開できます。 **注意**：YouTubeストリーミングの場合、オーディオを有効にするには 5.2.3 Audio を参照してください。 ■Stream 1：関連設定については、5.2.4.1 ストリーミングパラメータ設定 を参照してください。
SRT	 ■Port range: 1025～65535 **注意**: Port 3702、5353、8080、8554、8556、8557、52380、52381はカメラで使用されているため、これらのポートは設定しないでください。 ■ディレイ時間は 20～8,000 マイクロ秒です。（デフォルトは 120 マイクロ秒） ■Stream 1/2: 関連設定については、5.2.4.1 ストリーミングパラメータ設定 を参照してください。

5.2.4.1 ストリーミングパラメータ設定

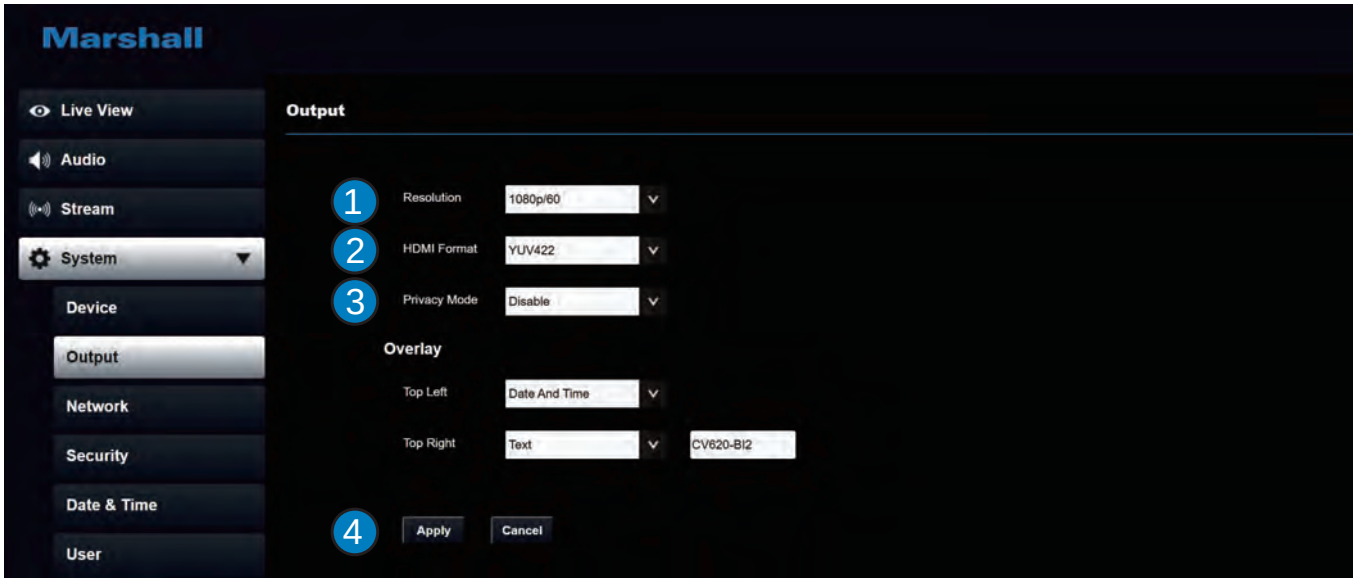
機　能		Stream 1	Stream 2
Encode Format（エンコード形式）		H.264	H.264
Resolution（解像度）		1080P / 720P	720P
Frame Rate（フレームレート）		対応している解像度に応じた設定	
Bit rate（ビットレート）	Range（範囲）	2,000~20,000	2,000~20,000
	Factory Default（工場出荷時のデフォルト）	7,000	3,000
Rate Control（レート制御）		CBR / VBR	
IP Ratio（IP比率）		対応している解像度に応じた設定	

5.2.5 System-Device



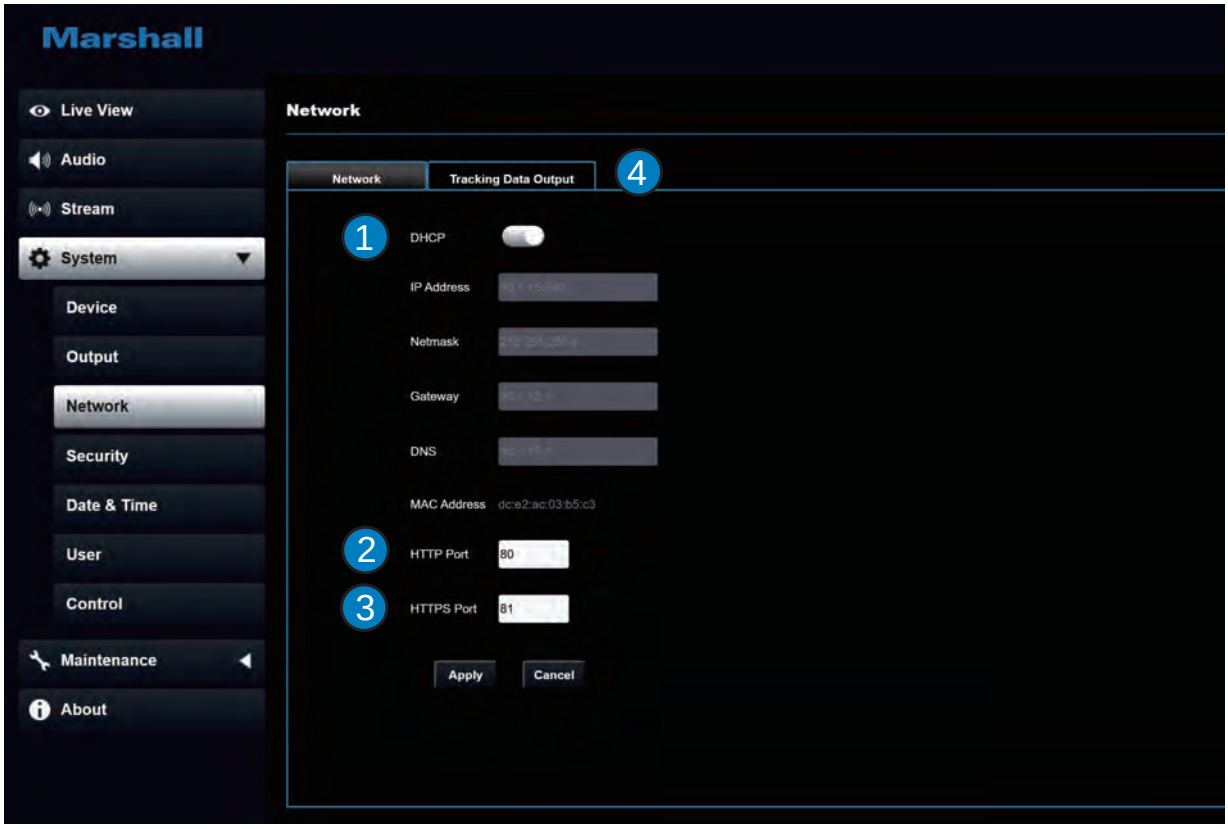
No	項　目	説　明
1	Camera ID	カメラIDはカスタマイズ可能です。 ■カメラIDは1～12文字まで入力できます。 ■英数字を使用してください。「/」や「スペース」などの特殊記号は使用できません。 **注意**：このフィールドを変更すると、ONVIFデバイス名/位置情報も同期して変更されます。
2	Camera Location	カメラの位置は「Room 1」のようにカスタマイズできます。 ■カメラの位置は1～11文字で指定できます。 ■文字は大文字、小文字、数字を組み合わせて入力してください。 「/」や「スペース」などの特殊記号は使用できません。 **注意**：このフィールドを変更すると、ONVIFデバイスの位置情報も同期して変更されます。
3	Apply/Cancel	設定の適用/キャンセル

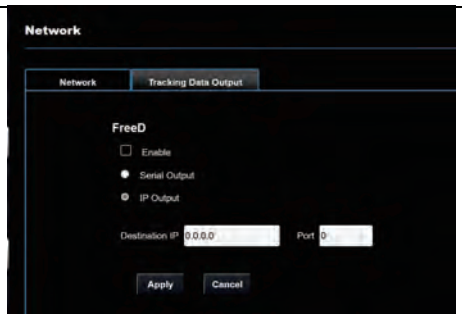
5.2.6 System-Output



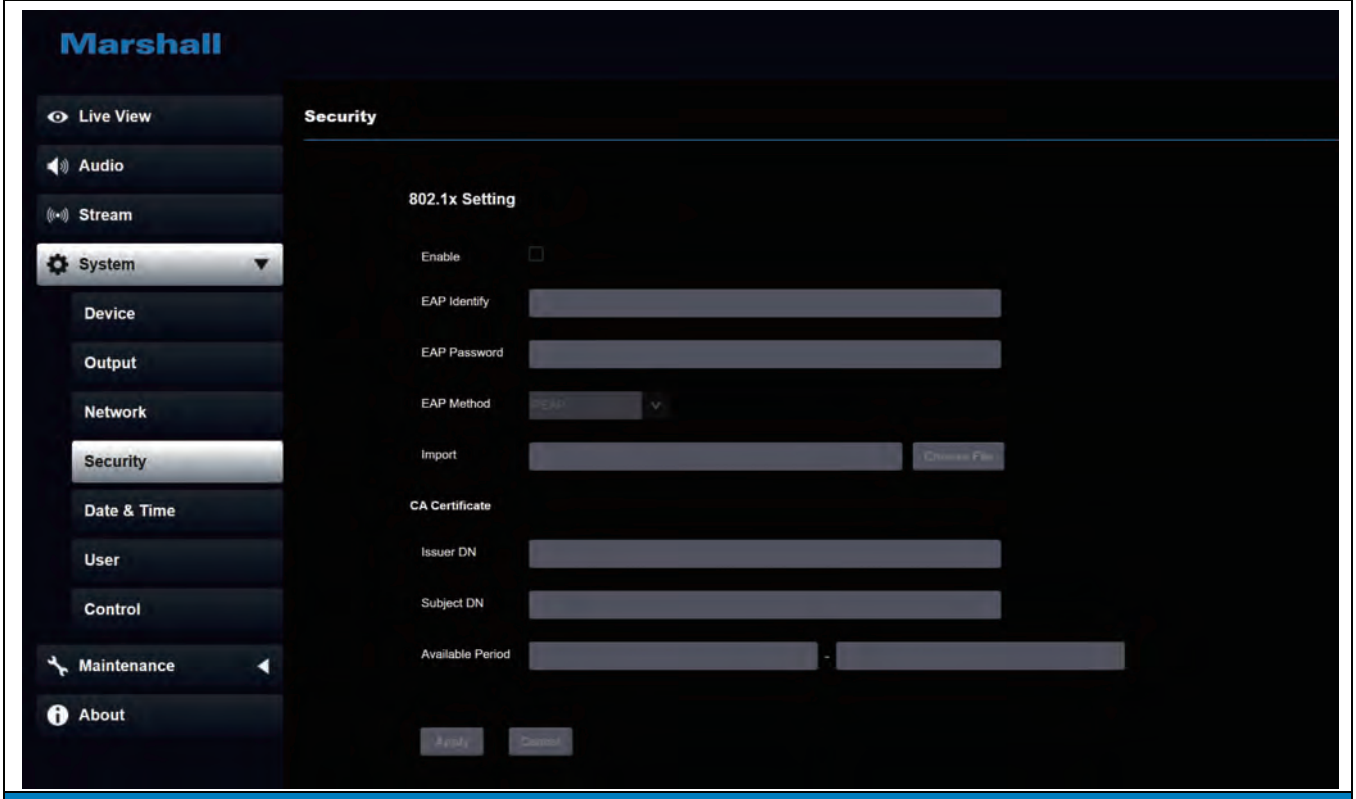
No	項　目	説　明
1	Resolution	出力解像度を設定してください 解像度を切り替えると、カメラが再起動します。ブラウザを更新してください。
2	HDMI format	YUV/YUV420/RGBを選択してください **注意**: YUV420 は 3840x2160 59.94/50 に適用されます
3	Privacy Mode	プライバシーモードの有効化/無効化 この機能を有効にすると、リモコンまたはソフトウェアでカメラの電源をオフにした際に、 ユーザーのプライバシーを確保するためにレンズが自動的に右下を向きます。
4	Apply/Cancel	設定の適用/キャンセル

5.2.7 System-Network



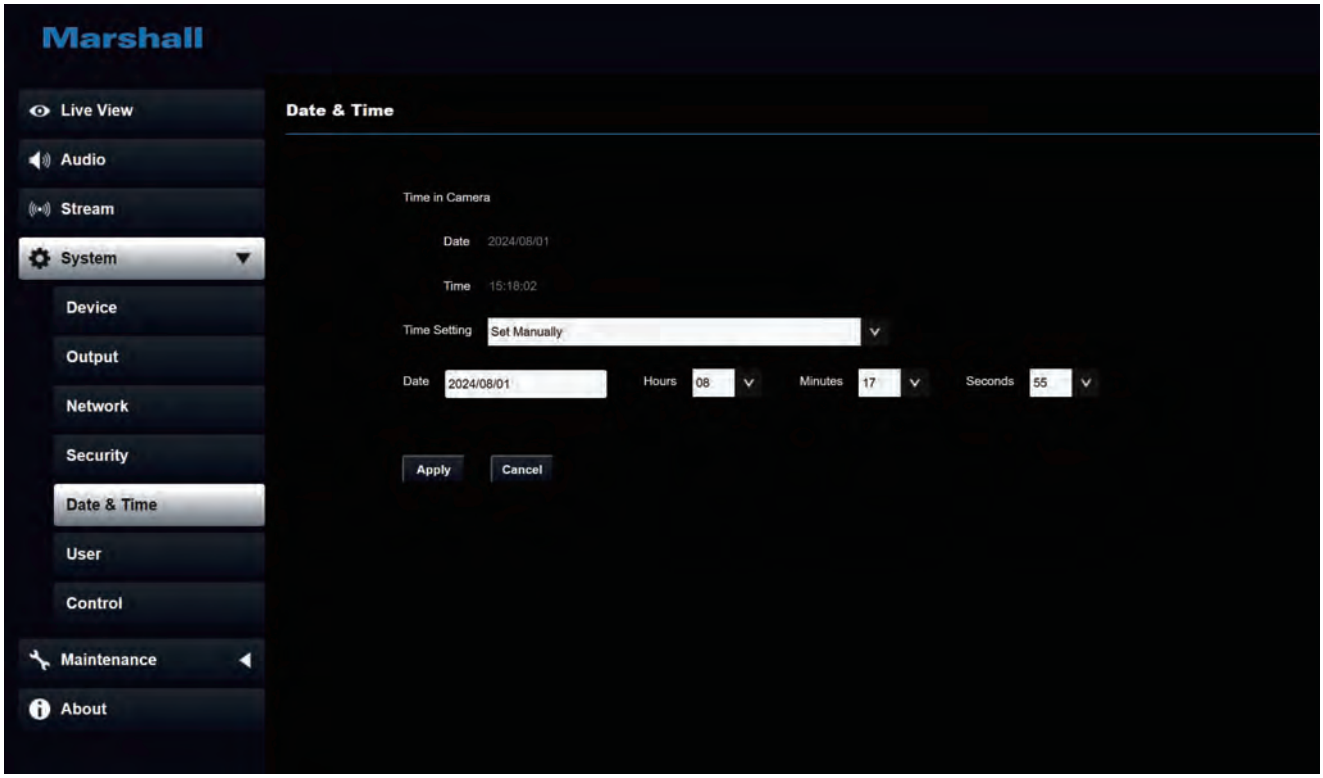
No	項　目	説　明
1	DHCP	カメラのネットワーク設定。DHCP機能がオフの場合でも設定変更は可能です。
2	HTTP port	HTTPポートを設定します。デフォルトのポート値は80です。
3	HTTPS port	HTTPSポートを設定します。デフォルトのポート値は81です。
4	Tracking Data Output Setting	 有効にすると、カメラの移動時にPTZ位置情報をフィードバックできます。 1. Serial port output（シリアルポート出力）：プロトコルはVISCA、ボーレートは38400に設定する必要があります。 2. IP output（IP出力）：IPアドレスと通信ポートを設定できます。 3. ポート番号は1024以上である必要があります。 Port 3702、5353、8080、8554、8556、8557、52380、52381は使用できません。 **注意**：トラッキングデータ出力を有効にすると、カメラのパフォーマンスに影響が出る可能性があります。

5.2.8 System-Security



説　明
802.1 Protocol の有効化/無効化。有効化後に設定できます。 **注意**：この機能を有効にするには、ルーターが 802.1x Protocol に対応している必要があります。

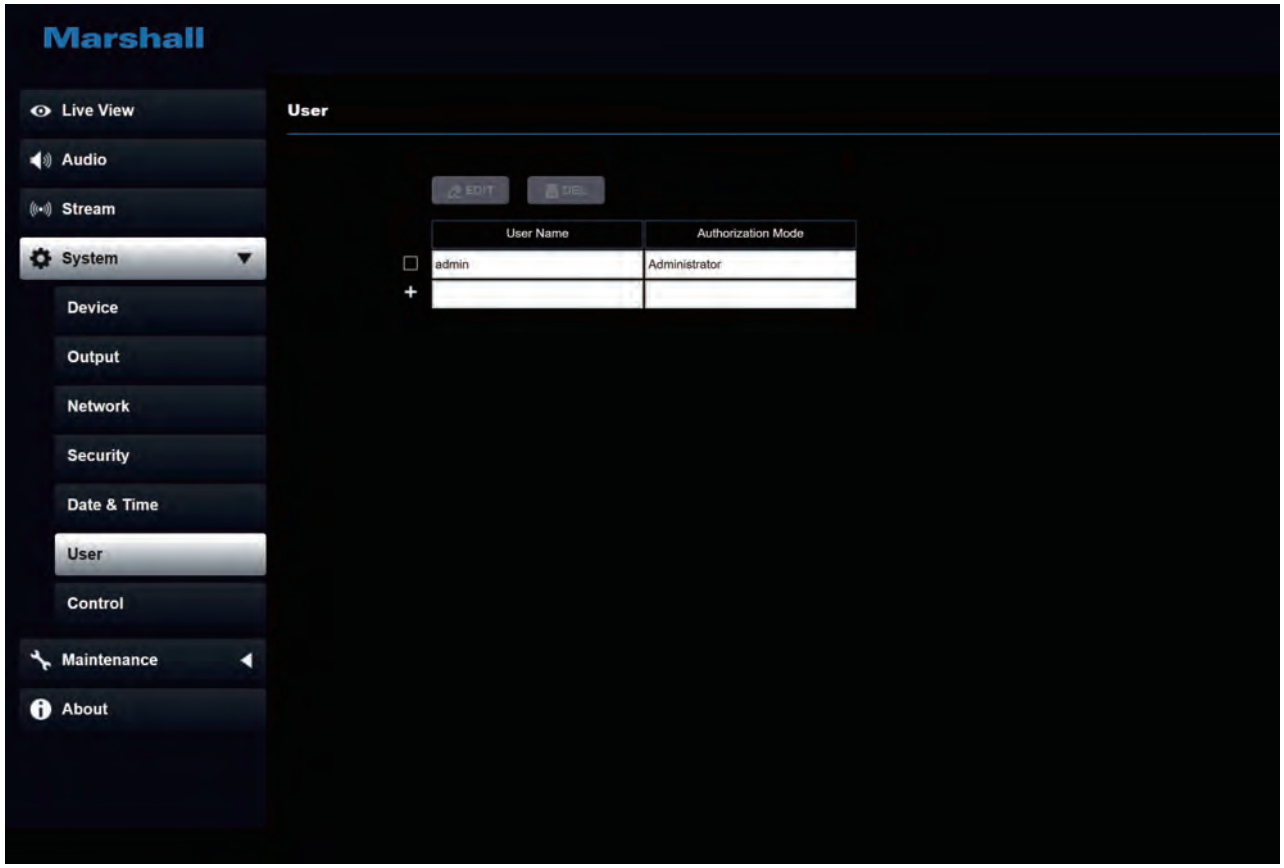
5.2.9 System-Date & Time



説　明

カメラの日付と時刻を表示し、同期方法を設定したり、日付と時刻を手動で設定したりします。

5.2.10 System-User



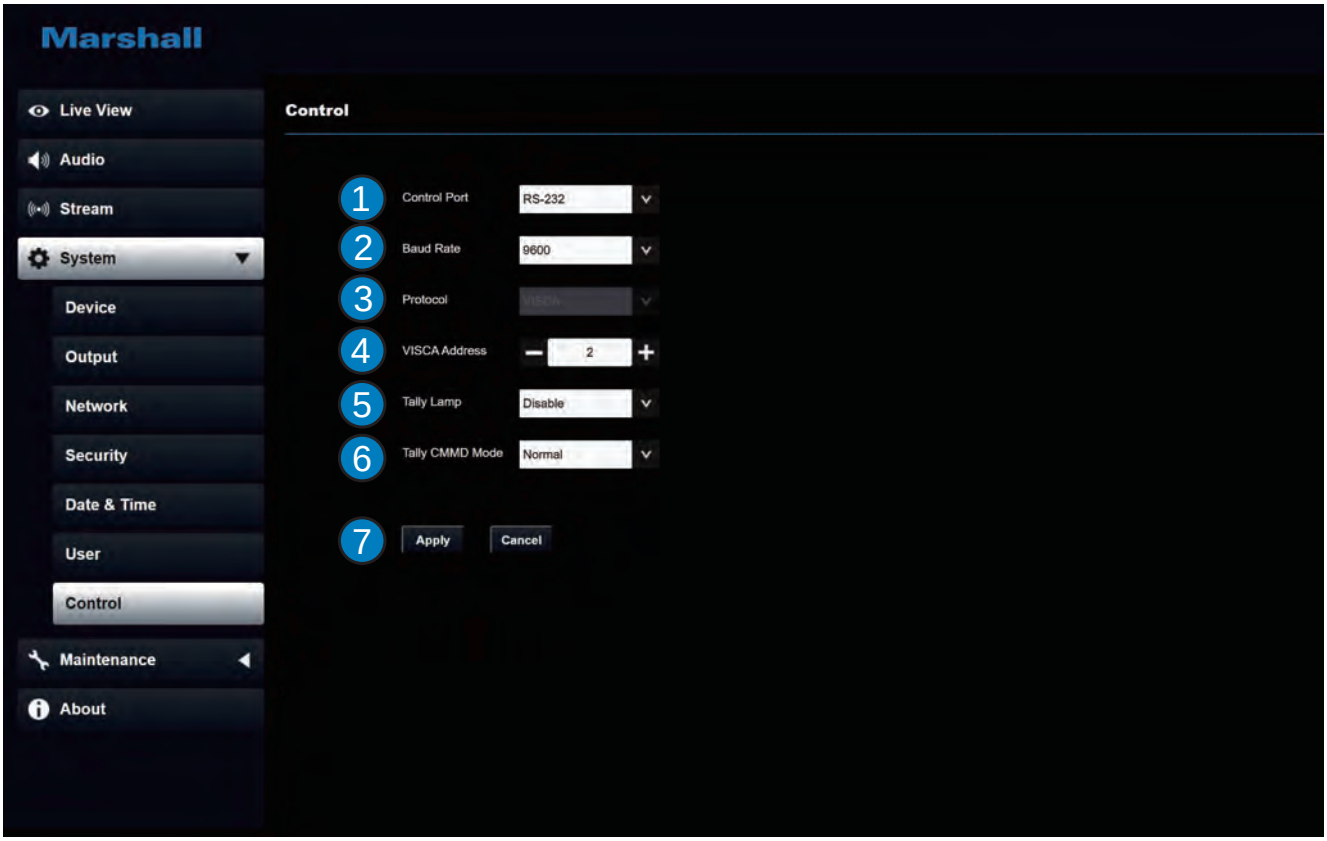
説　明

ユーザーアカウントの追加/変更/削除
■ユーザー名とパスワードは4～32文字まで使用できます。
■文字は大文字、小文字、または数字を組み合わせて使用してください。
　特殊記号や下線部は使用できません。
■Authentication Mode（認証モード）：新しいアカウントの管理権限を設定します。

ユーザータイプ	Admin	Operator	Viewer
画像を見る	V	V	V
設定	V	V	X
アカウント管理	V	X	X

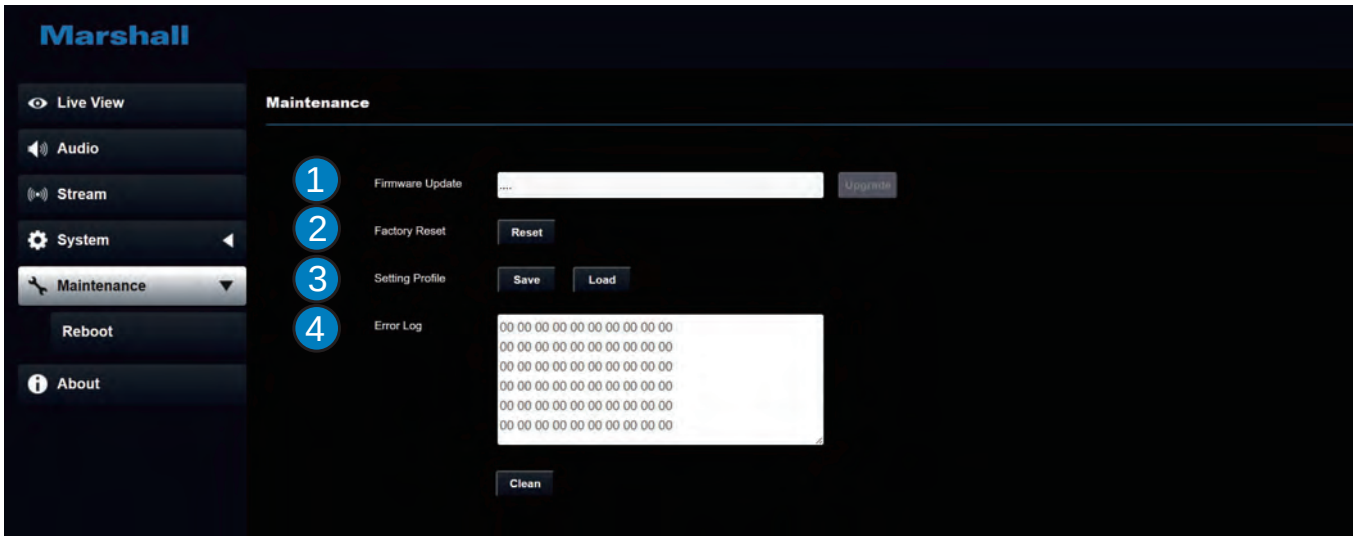
注意: 工場出荷時設定にリセットすると、ユーザーのデータも消去されます。

5.2.11 System-Control



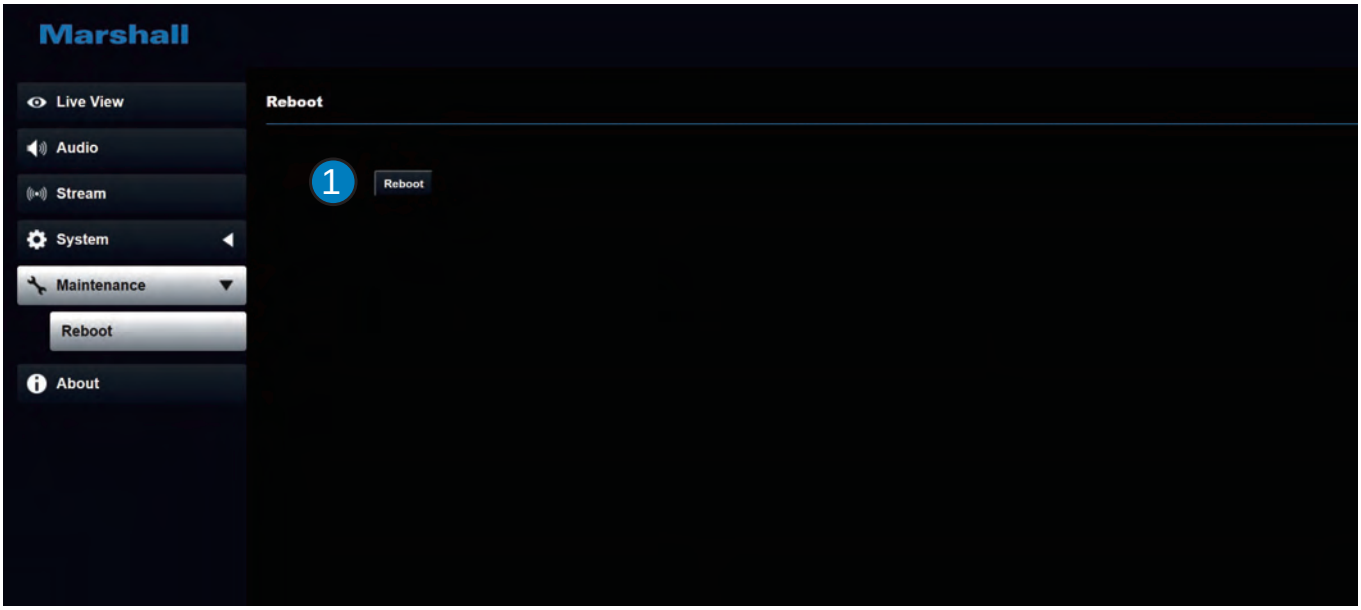
No	項　目	説　明
1	Control Port	RS-232/ RS-422
2	Baud Rate	制御信号の伝送速度を9600/38400として選択します
3	Protocol	VISCAプロトコルに対応しています
4	VISCA address	camera ID address 0 ~7 を割り当てることができます
5	Tally Lamp	タリーランプの有効化/無効化
6	Tally CMMD Mode	[Tally Lamp] を RS-232 の [Tally Mode] コマンドに連動させるかどうかを設定します。 ■General（連動させない）：[Tally Lamp] と RS-232 の [Tally Mode] は別々に設定する必要があります。 ■[Tally Lamp] がオンの場合、RS-232 の [Tally Mode] のデフォルトはオフです。[Tally Mode] をオンにするには、追加のコマンドが必要です。 ■[Tally Lamp] がオフの場合、RS-232 の [Tally Mode] をオンにしても、タリーランプは点灯しません。 ■Link： ■[Tally Lamp] がオンの場合、RS-232 の [Tally Mode]は同期します（デフォルトは赤色点灯）。 ■[Tally Lamp] がオフの場合、RS-232 の [Tally Mode] をオンに設定すると、タリーランプが点灯します。
7	Apply/Cancel	設定の適用/キャンセル

5.2.12 Maintenance



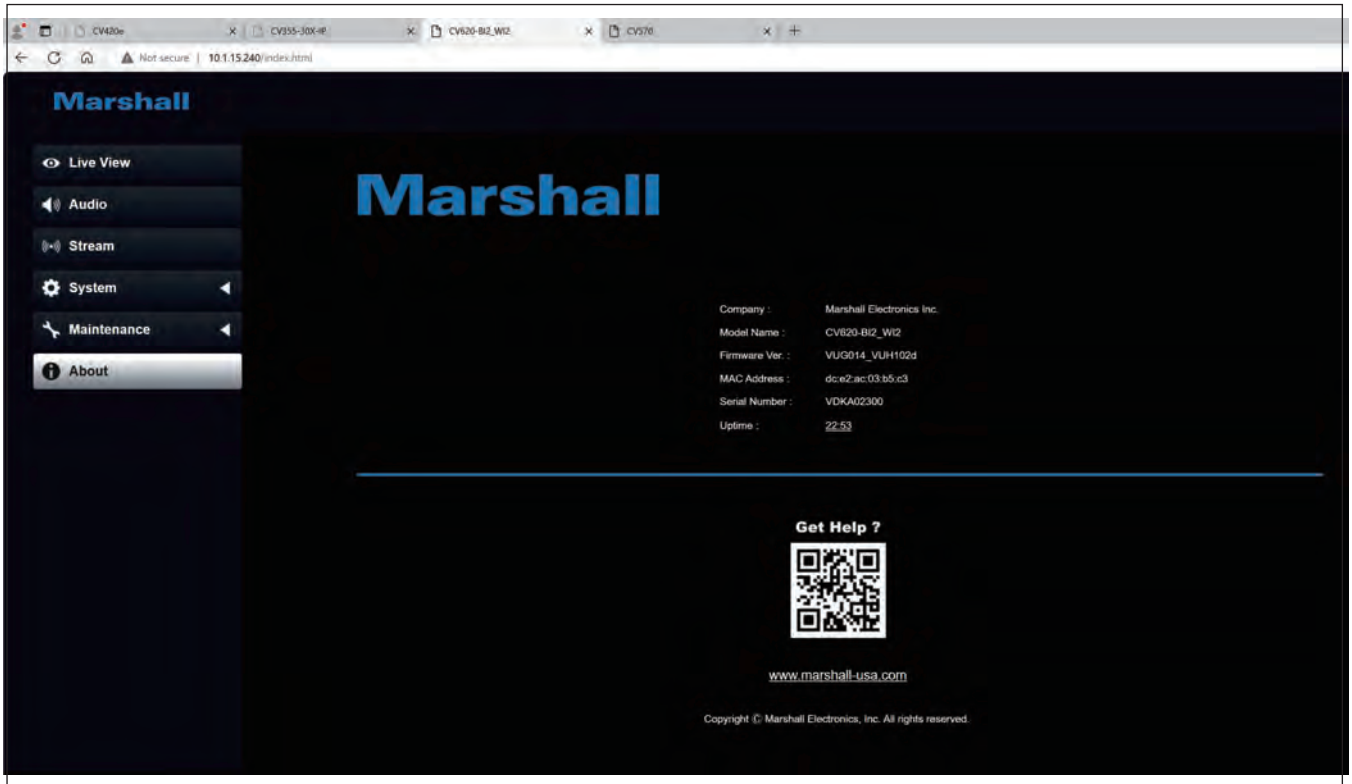
No	項　目	説　明
1	Firmware Update	ファームウェアファイルを選択し、[Upgrade] をクリックしてファームウェアを更新してください。 **注意**: 更新には約2～3分かかります。 **注意**: ファームウェアの更新が失敗するのを防ぐため、更新中はデバイスの操作や電源のオフをしないでください。
2	Factory Reset	すべての設定を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします
3	Setting Profile	カメラ設定パラメータはエクスポートして、別のカメラにインポート/適用できます。
4	Error Log	カメラにエラーが発生した場合、エラーコードログが作成されます。 **注意**：エラーコードが表示された場合は、エラーコードをクリアして、問題が繰り返し発生していないか確認してください。

5.2.13 Maintenance-Reboot



No	項　目	説　明
1	Reboot	すぐに再起動します

5.2.14 About

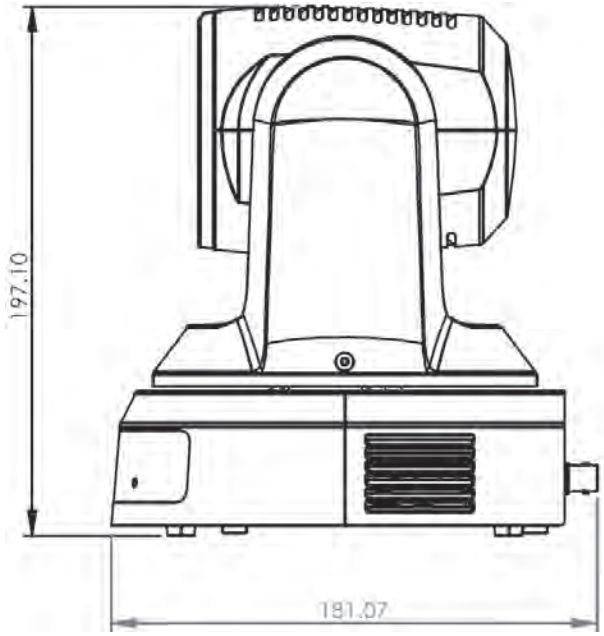


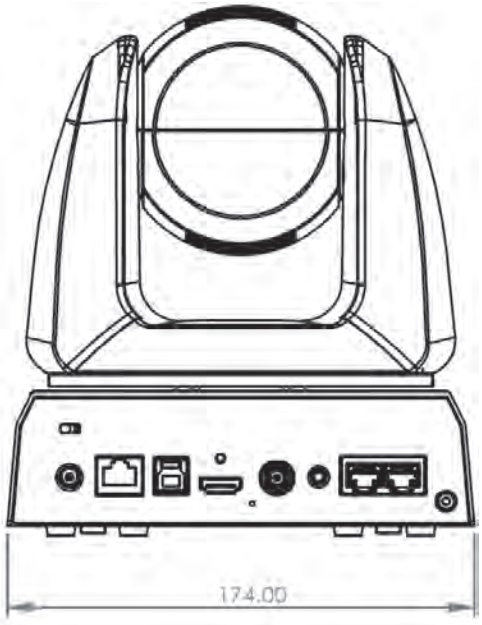
説　明
カメラのファームウェアバージョン、シリアル番号、その他の関連情報を表示します。 テクニカルサポートについては、右下のQRコードからお問い合わせください。

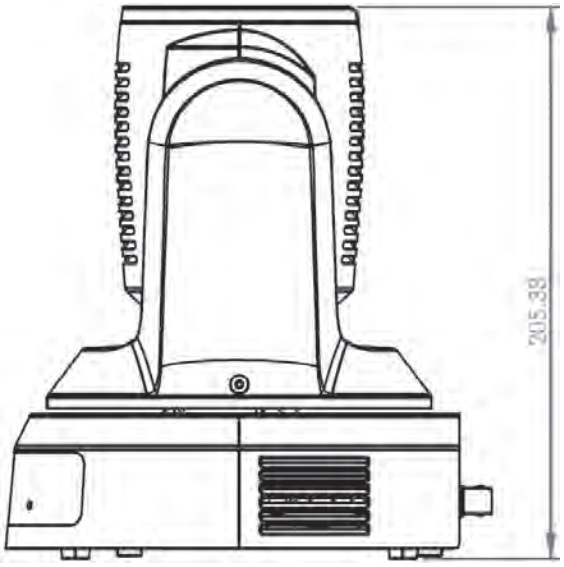
6. トラブルシューティング

No.	問　題	対　策
1.	電源信号なしで起動する	1. 電源コードが接続されていることを確認します。 2. PoE接続を使用する場合は、電源がPoE（IEEE 802.3af）に対応していることを確認してください。
2.	カメラから画像出力がない	1. 電源または PoE 供給機能を確認します。 2. カメラの解像度がディスプレイと互換性があるかどうかを確認します。 3. ケーブルを交換し、故障がないことを確認します。
3.	カメラ画像が著しく遅延している	25/30 fps信号ではなく、1080pまたは720p 60/50 fpsを使用してください。
4.	RS-232/ RS-422Bが制御できない	1. 接続が正しいことを確認します。 （RS-232/RS-422 入力/出力） 2. ボーレート設定が制御装置と同じであることを確認してください
5.	ONVIFソフトウェアがマシンを 見つけることができません	Webページの [System]> [Device]> [CameraID]/ [Location] には、必ず英語のアルファベットまたは数字のみを使用してください。特殊文字やスペースを使用すると、ONVIF ソフトウェアが機器を検索できなくなります。
6.	RS232設定を適用すると タリーランプが動作しない	設定メニューまたはWebページから、タリーランプ機能が有効になっているかどうかを確認してください。 ■設定メニュー：System - Tally Lamp ■Webページ：System - Control - Tally Lamp
7.	再起動後、カメラが過去のパラメータ（PTZ、AWBなど）を保存しない	設定メニューまたはWebページから、初期位置が [Last MEM] に設定されていることを確認してください。 ■設定メニュー：System - Initial Position ■Webページ： Live View - Camera Setting - PTZ
8.	追跡データの出力が遅れている、 または更新されていない	カメラが以下の状態になっていないことを確認してください。 以下の機能設定により、データ出力が遅延したり、更新されなかったりする可能性があります。 - 出力解像度の変更 - カメラモードの変更 - HDMIフォーマットの変更 - OSDメニューの有効化 - ストリーミング設定 - オーディオ設定

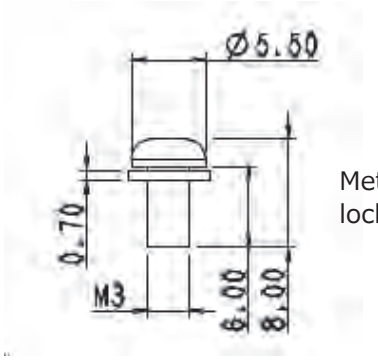
7. 外観図



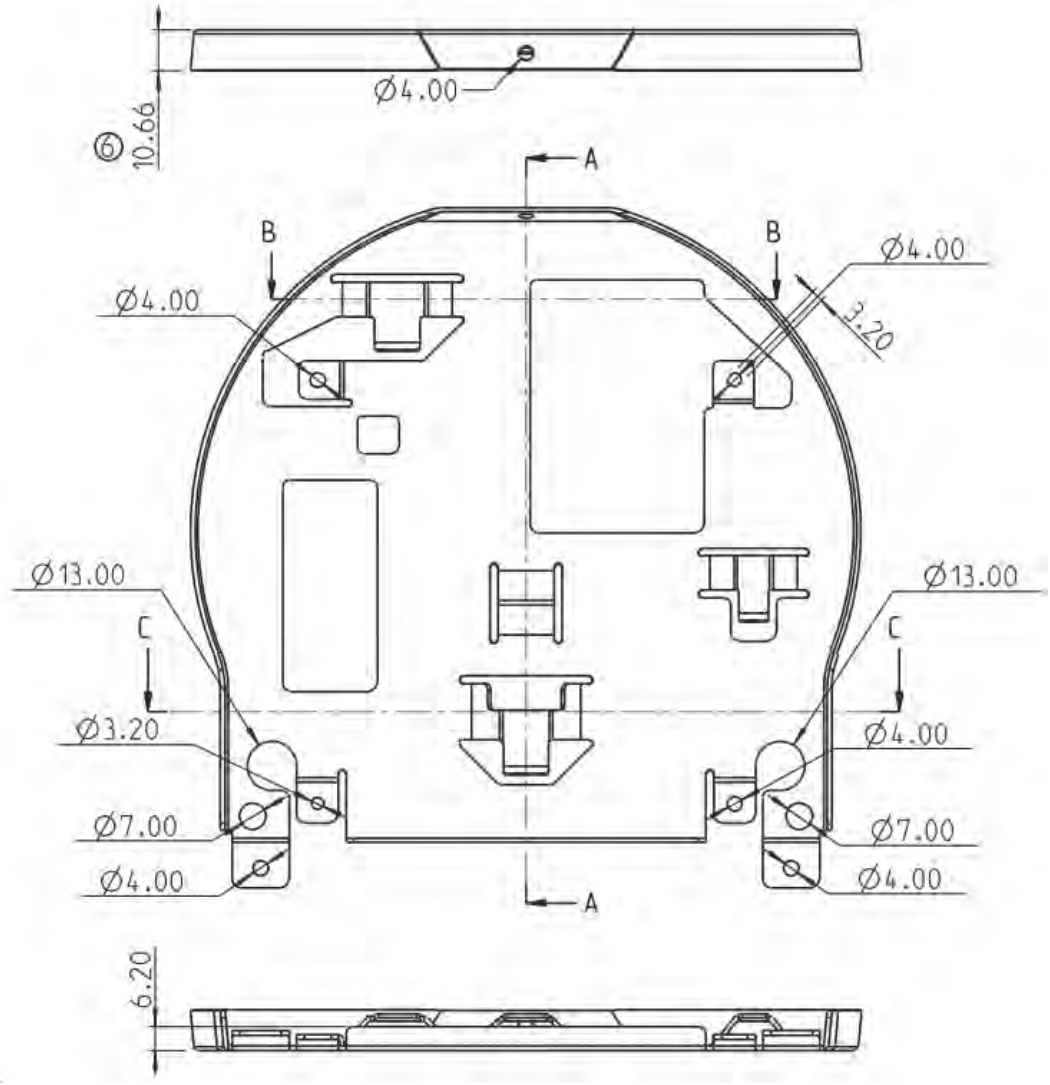




(1) 金属板A - カメラ側

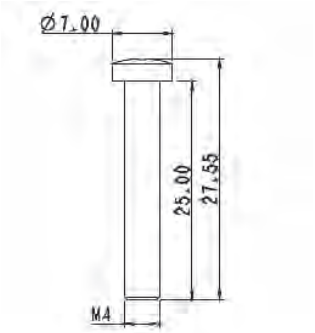


Metal plate A
locking screw

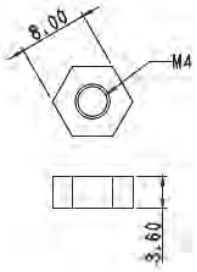


金属板A - カメラ側

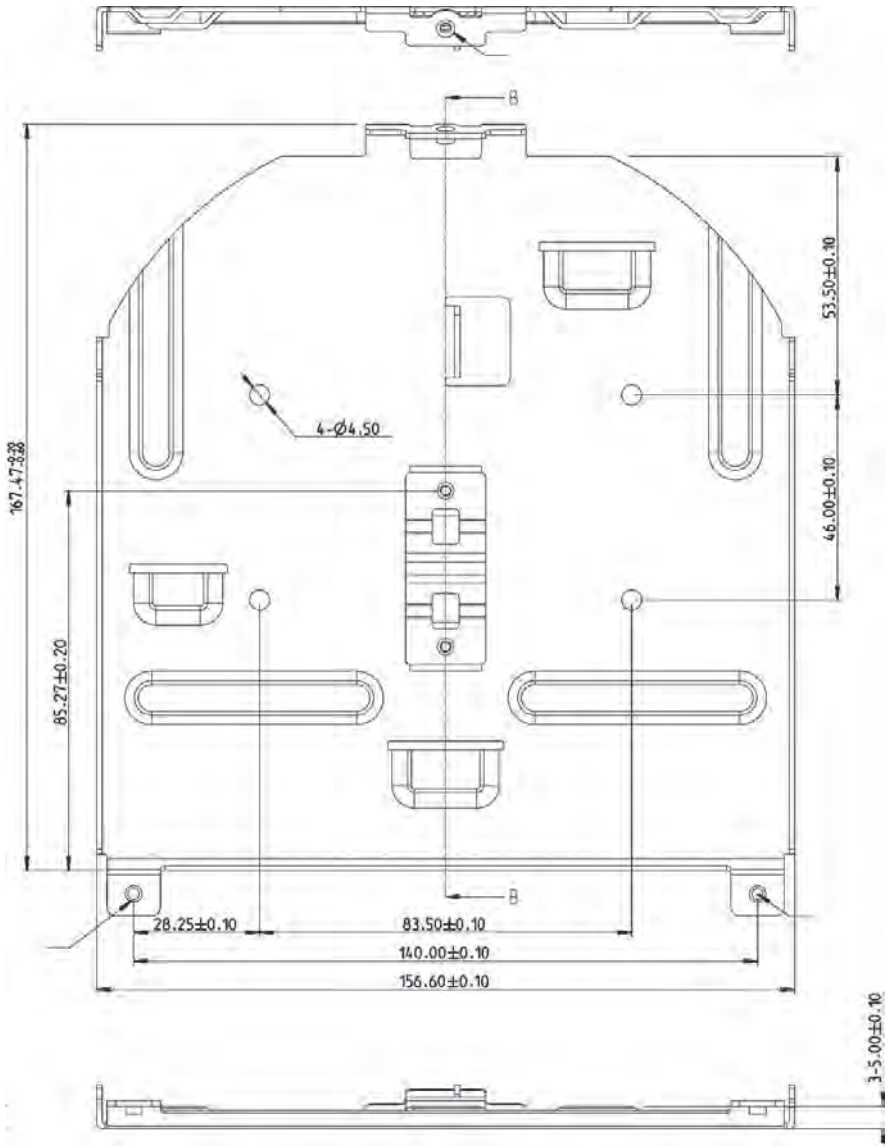
（2）金属板B - 天井側



金属板B
固定ネジ



金属板B
ロックボルト



8. 安全に関する指示

製品を使用する際は、必ず以下の安全指示に従ってください。

1. 操作

1.1 製品は水や熱源から離れた推奨動作環境で使用してください。

1.2 製品を傾いた位置や不安定な台車、スタンド、テーブルに置かないでください。

1.3 ご使用前に電源プラグのほこりを取り除いてください。
火花や火災を防ぐため、製品の電源プラグをマルチプラグに差し込まないでください。

1.4 製品本体のスロットや開口部を塞がないでください。
開口部によって通気性を確保し、製品の過熱を防ぎます。

1.5 カバーを開けたり取り外したりしないでください。危険な電圧やその他の危険にさらされる可能性があります。
すべてのメンテナンスは、資格を持ったサービス担当者にご依頼ください。

1.6 以下の状況が発生した場合は、製品のプラグを壁のコンセントから抜き、資格を持ったサービス担当者に修理を依頼してください。

- 電源コードが破損または擦り切れている場合。
- 製品内に液体がこぼれた場合、または製品が雨や水にさらされた場合。

2. 設置

2.1 安全上の考慮のため、ご購入いただいた標準吊り下げラックがULまたはCEの安全認証に準拠していること、および代理店が承認した技術者によって設置されていることを確認してください。

3. 保管

3.1 コードを踏むような場所に置かないでください。コードやプラグが擦り切れたり損傷したりする恐れがあります。

3.2 雷雨のときや長期間使用しない場合は、製品のプラグを抜いてください。

3.3 製品または付属品を振動する機器や加熱された物体の上に置かないでください。

4. 清掃

4.1 清掃の前にすべてのケーブルを外し、乾いた布で表面を拭いてください。
清掃にはアルコールや揮発性溶剤を使用しないでください。

5. 電池（電池付きの製品または付属品）

5.1 電池を交換する場合は、類似または同じ種類の電池のみを使用してください。

5.2 電池または製品を廃棄する際は、お住まいの国または地域の電池または製品の廃棄に関する関連指示に従ってください。

注意事項

	この記号は、この機器に危険な電圧が含まれている可能性があり、感電を引き起こす可能性があることを示しています。カバー（または背面）を取り外さないでください。内部にはユーザーが修理できる部品はありません。修理は資格のあるサービス担当者にご相談ください。		この記号は、このユニットのユーザーマニュアルに重要な操作およびメンテナンスの指示が記載されていることを示します。

Marshall

保 証

Marshall CV620-BI2/WI2 は、通常の使用条件下でご使用ください。

ご購入日から1年間は無償修理保証の対象となります。
この保証はご購入者様のみに適用され、無償修理保証を依頼する場合には販売店へご連絡ください。
シリアル番号が不明な場合、修理をお受けできない場合がございます。
この保証は、製品の外装や装飾品には適用されません。設計または構造の誤用、異常な取り扱い、
変更または修正は、この保証を無効にします。
販売者またはその他の販売員の販売担当者は、上記以外の保証を行うこと、または上記の期間を超えて、
Marshall Electronicsに代わって保証期間を延長することはできません。
製品および製品の機能を常に改善するための努力により、仕様は予告なしに変更される場合があります。
保証期間内でも以下の場合は有償修理または、修理をお受けできない場合がございます。

- 誤った使用方法や不当な修理、改造等を行っていた場合。またそれによって生じた故障、損傷。
- 落下などによる故障、損傷。
- 火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。

無償保証修理は日本国内においてのみ有効です。

サポート窓口

Marshall
株式会社M&Inext　Marshall事業部
〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町2-7-10 関内フレックスビル210
ＴＥＬ：045-415-0203　ＦＡＸ：045-415-0255
ＭＡＩＬ：contact@minext.jp　ＵＲＬ：https://marshall-japan.com/

本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等をすることは著作権法上禁止されております。
日本語訳・制作・著作　株式会社M&Inext　　2026年6月改訂